

数字でわかる、臓器提供

既にたくさんの方が臓器提供の意思を表示しています。
それは、自分が助ける側にも、助けられる側にもなり得るから。あなたも、表示しませんか？

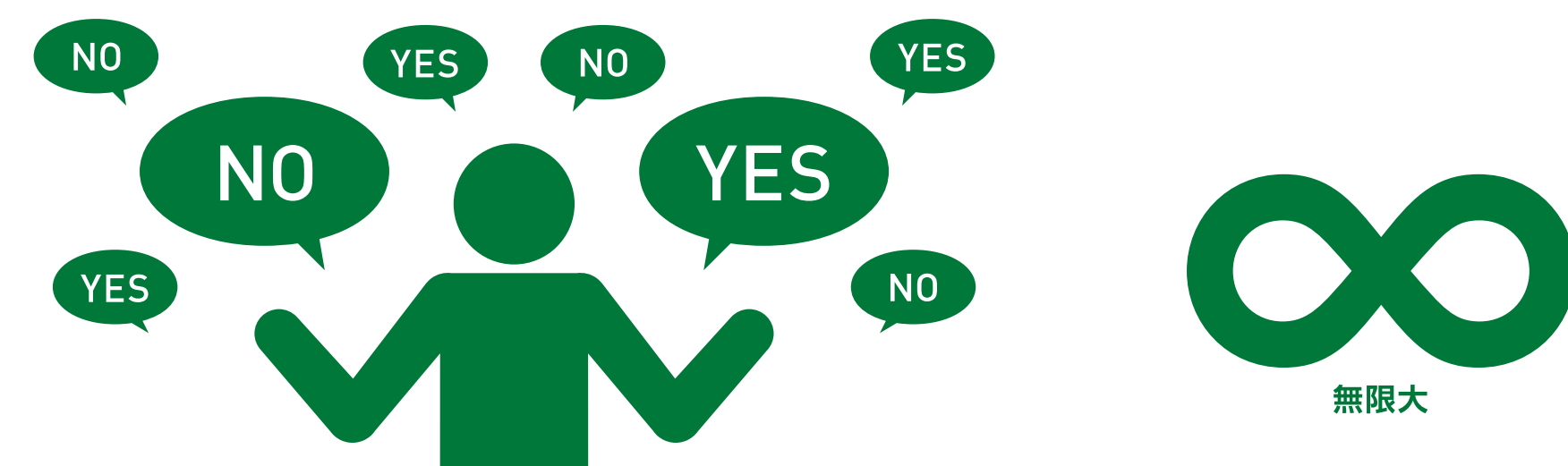
提供と移植に関する権利

臓器を「あげたい」「あげたくない」「もらいたい」「もらいたくない」の4つの権利があり、どの意思も等しく尊重されます。



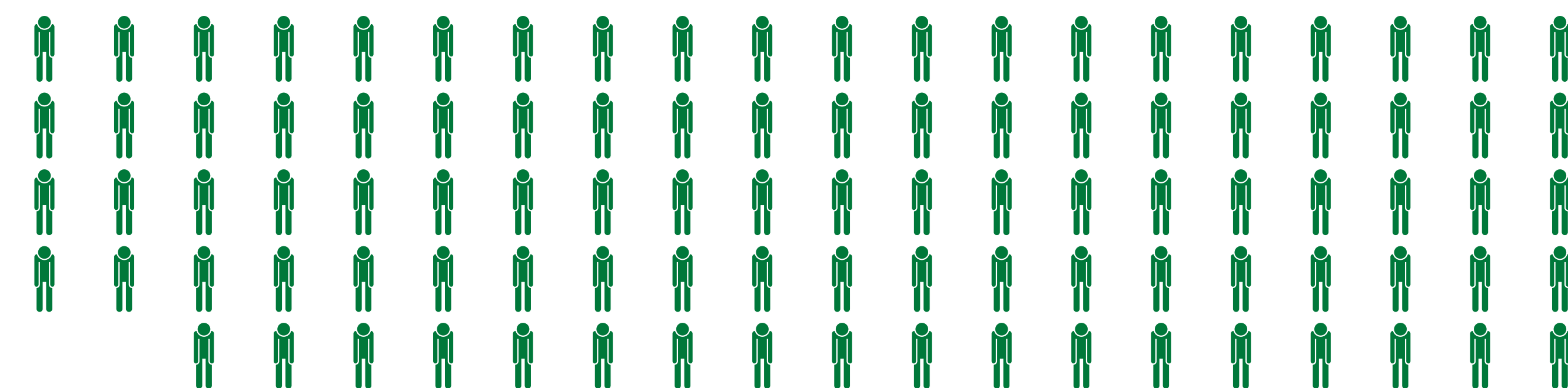
意思を変更できる回数

提供する意思は、いつでも、何度でも変更可能。二重線で消して書き直すことができます。

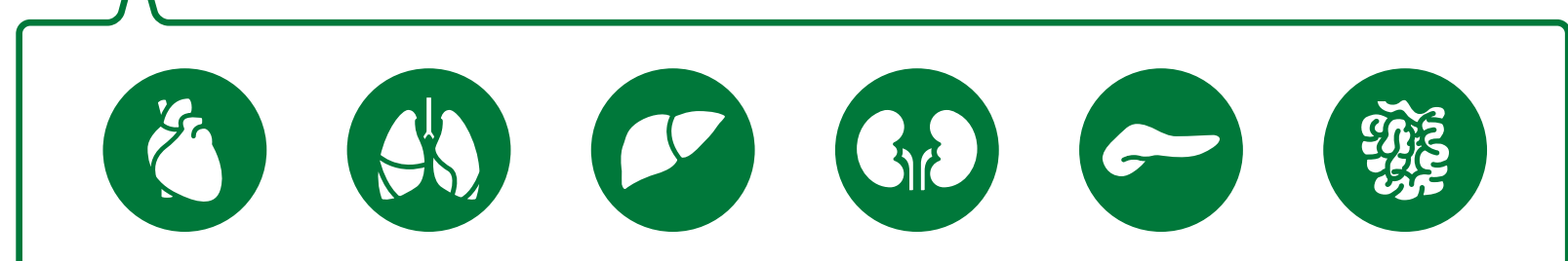


1年間で移植を受けられない人

移植希望者約14,000人のうち、年間で移植を受けられるのはわずか2%。いま、この瞬間にも、多くの方が移植を待ち望んでいます。



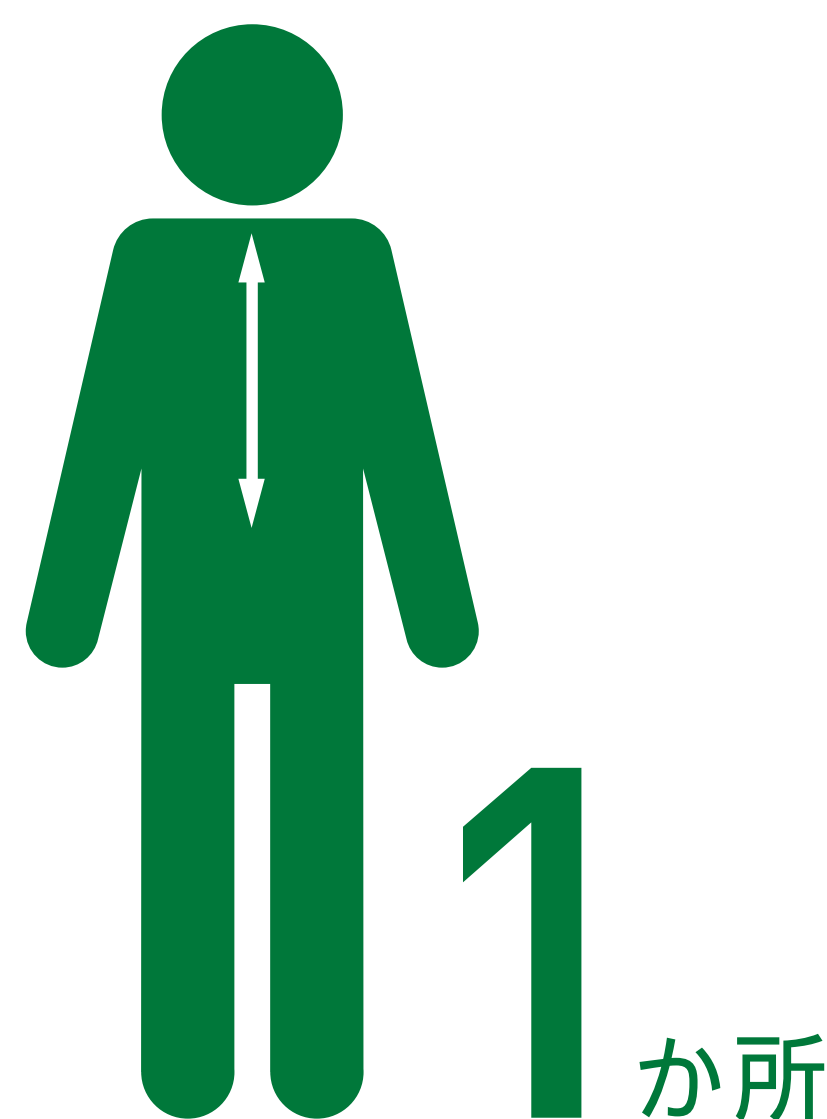
1年間で移植を受けられる人 2%



98%

摘出手術の術跡

喉元からおへその下まで傷が1本入りますが、術後はきれいに縫合し、外からわからないようにします。



家族と離れる時間

3～5時間の摘出手術後、家族の元へ戻ります。通夜や葬儀など、大切な方々との時間を過ごせます。



家族と話し合ったことがある人

約3人に1人が家族と話しています。今日、あなたも大切な人と話してみませんか。



1人が救える最大の人数

脳死後の提供の場合、最大で「心臓」「肺×2」「肝臓×2」「腎臓×2」「膵臓」「小腸」「眼球×2」=11人を救うことができます。



データ出典元：内閣府「平成29年度世論調査」(*) 及び(公社)日本臓器移植ネットワーク

1年後 < 5年後 < 10年後と、意思表示があたり前になりますように。